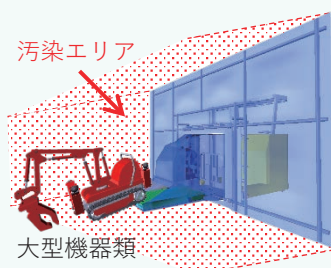


大型機器類のバッグイン・バッグアウト方法

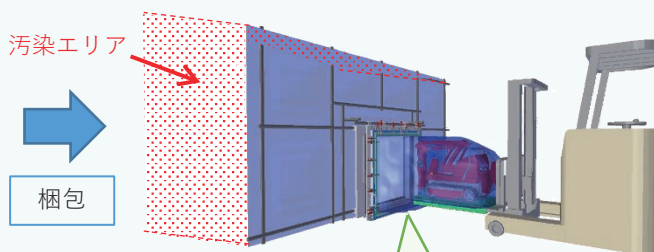
- 汚染した大型機器類の再利用が可能
- 長尺のビニルバッグをその場溶着・切断が可能
- 1m³のグローブボックスを搬入可能

キーワード：バッグイン・バッグアウト方法、グローブボックス解体撤去、汚染コントロール

グローブボックス等を解体撤去する際、汚染拡大防止のため、解体撤去物の周りにテントを設置。汚染を出さずに重量物等を安全・安定に搬出入する方法。



大型機器類

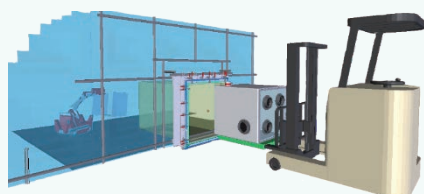


梱包

〈大型機器類のバッグアウト〉

- ・グローブボックスの解体において大型機器類を廃棄せずに再利用可能

⇒大型機器類の再利用により、**工期短縮**、**コスト低減可能**

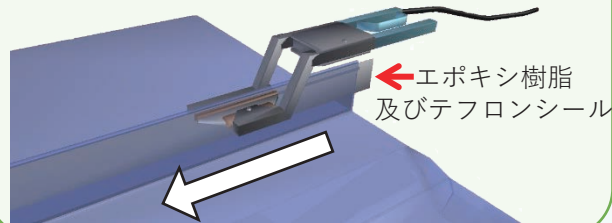


〈グローブボックスのバッグイン〉

- ・1m³のグローブボックスをテントに搬入可能
- ⇒**テント資機材の節約**及び設営期間の削減による**コスト低減可能**

溶着・切り離し

オフセット型又はT字型高周波シーラー



〈長尺ビニルバッグの溶着方法〉

- ・ビニルバッグにエポキシ樹脂及びテフロンシールを挟み込み溶着することで、**長尺でも溶着可能**

技術のステージ



実用化開発

関連業種

設備工事、医療業、
職別工事業（設備工事業を除く）

利用分野

- ・核燃料物質、化学物質、ウィルスなどの病原体を取扱った設備の解体
- ・福島第一原子力発電所の廃止措置

知財・関連技術情報

特許第7217497号

技術の詳細



お問い合わせ先 日本原子力研究開発機構
seika.riyou@jaea.go.jp